

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-1 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実
---------	----------------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

社会教育課長 福岡 直

電話番号

0852-22-5910

事務事業の名称	公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業	
目的	(1) 対象	公民館
	(2) 意図	市町村が地域の教育資源を活用し、地域づくりに主体的に参画しようとする人づくりを進めるために、地域の拠点である公民館機能の強化、公民館活動の充実を図るための支援を行う。
事業概要	・公民館ふるさと教育推進事業：中学校区単位の公民館等が連携して地域住民を対象としたふるさと教育を行い、ふるさとに愛着と誇りをもち、守っていかうとする人材を育成する。 ・地域課題解決型公民館支援事業：地域課題の解決を図ろうとする地域住民の活動を支援する公民館を選定し、その成果発表の場を設け、プロセス・ノウハウ等を県内に普及させる。また、本事業で育成した人材が地域活動に向けて動き出し、実践活動が継続できるように地域振興部等への移行を図る。 ・ふるさと体験活動モデル調査研究事業：子どもたちが、島根の人や自然と深く関わり、ふるさとへの愛着や貢献意欲を高めるために、公民館等が地域住民の協力を得て行う民泊、通学合宿等の宿泊を伴う体験活動に対する支援を行う。また、事業成果の検証等を行い、普及啓発を図る。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 地域課題の解決を図ろうとする地域住民の活動を支援する公民館の数	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0	公民館数
		取組目標値						
	式・定義 「地域課題解決型公民館支援事業」採択公民館数	実績値		-				%
		達成率		-	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率		-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	0	28,281
うち一般財源(千円)	0	17,144

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成19年度～平成25年度に取り組んだ「実証！地域力醸成プログラム事業」により、のべ128館の公民館等をモデル指定し、公民館等が実施する地域課題の解決や地域活性化につながる取組を支援してきた。 ・一方、平成26年度公民館実態調査によると、公民館等事業のうち、「現代的課題を扱った公民館等事業」は11.3%、「市民意識の醸成に関わる公民館等事業」は12.0%であり、地域課題解決や地域づくりを担う人づくりを進める公民館等事業は少ない。
--

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・「実証！地域力醸成プログラム事業」でのモデル公民館の取組が継続せず、一過性のもので終わったり、自立的な公民館活動に発展しない。
- ・子どもたちを対象とする地域ふるさと体験活動が質的にも量的にも不十分である。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・市町村の公民館等を支援する財政状況が厳しいため、予算が減ると同時に取組が終了するところがある。
- ・公民館機能が弱いところは、生涯学習的な事業が中心となり、「地域課題」に関する事業に取り組みにくい。
- ・宿泊体験活動のノウハウが周知されず、その効果についても裏付け資料が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- ・公民館等は市町村の施設であるが、県にとっても地域づくりを担う人づくりの拠点であると認識し、財政面、人材面の両面から総合的に市町村を支援する必要がある。
- ・宿泊を伴うふるさと体験活動のノウハウや効果について明らかにする必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・公民館機能が発揮され、公民館活動の活性化、発展につながるよう市町村を支援していく。 ・公民館等での取組が一過性のもので終わらないために、地域振興部局との連携を密にし、地域振興の実践活動へ発展するように支援する。 ・宿泊を伴うふるさと体験活動のノウハウや効果について明らかにするとともに、量的・質的な充実を図っていく。
---

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）